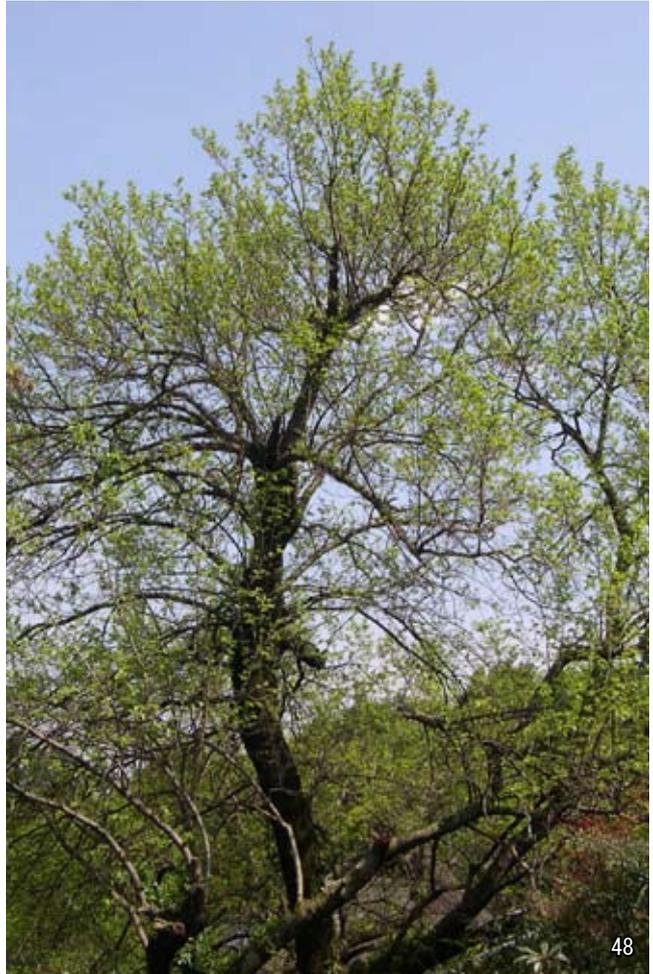


47 船守神社のくすみなもりじんじや

樹 高：25m 幹周り：10m
 樹 齢：400年～500年 指定年：昭和 48 年3月 30 日
 所在地：岬町淡輪4402
 交 通：南海本線「淡輪」駅下車、西へ徒歩700m

町中に突如として出現するいくつかのこんもりした樹冠が、森をつくっているかのようです。それもそのはず、このクスの幹は四本が融合してそれぞれが思い思いの方向に枝を伸ばしています。泉南地域の代表的なクスの一つです。



48 左近邸の桑の木さこんてい

樹 高：13m 幹周り：1.8m
 樹 齢：400年～500年 指定年：昭和57年3月31日
 所在地：河内長野市滝畑
 交 通：近鉄・南海「河内長野」駅から、南海バス「滝畑ダム」行き「夕月橋」下車、南へ徒歩800m

滝畑ダムの南端、標高 320 m のどかな山村にある国指定重要文化財左近家住宅の玄関前の庭に、樹高 13 m にもなる桑の巨樹が育っています。その樹の下ではたくさんの桑の木が大きくなろうと上を目指しています。

クワ

クワはクワ科クワ属の落葉高木で、古来カイコの餌として重要な作物でした。カイコが食べるのは日本原産種ヤマグワで、養蚕のために作り出された改良種がいくつかあります。クワという名は「蚕葉（こば）」という古語が転訛したものといわれます。

樹皮は灰褐色で、葉には切れ込みのような荒い鋸歯があります。春に小さな白い花が房状に集まった花を咲かせ、初夏にキイチゴのような小さな粒がたくさん集まった黒紫色の甘い実を実らせませす。クワの実を「どどめ」と呼ぶ方言があり、「どどめ色」はここから来ました。

天蚕という貴重な絹糸はヤママユガという野生のカイ

コガが作る「山蚕（やまこ）」というまゆからとる糸で、皇后さまが宮中で飼育されておられることでも知られています。古代中国で養蚕に適するように改良されたものがカイコ（飼い蚕）になりました。

クワ材は硬く木目が緻密で狂いが少ないため弥生時代から容器などに使われてきました。硬い木目が鋸のようになることから石包丁と同じ用途の木製穂摘み具もヤマグワ材で作られています。古代以降も指物や楽器の製作に使われ、正倉院に伝わる琵琶や阮咸にもクワ材が使われています。

葉は利尿、解熱効果のある「桑白皮（そうはくひ）」という生薬になり、お茶にして飲用しますが、近年血圧や血糖値を抑制する効果も認められて注目されています。

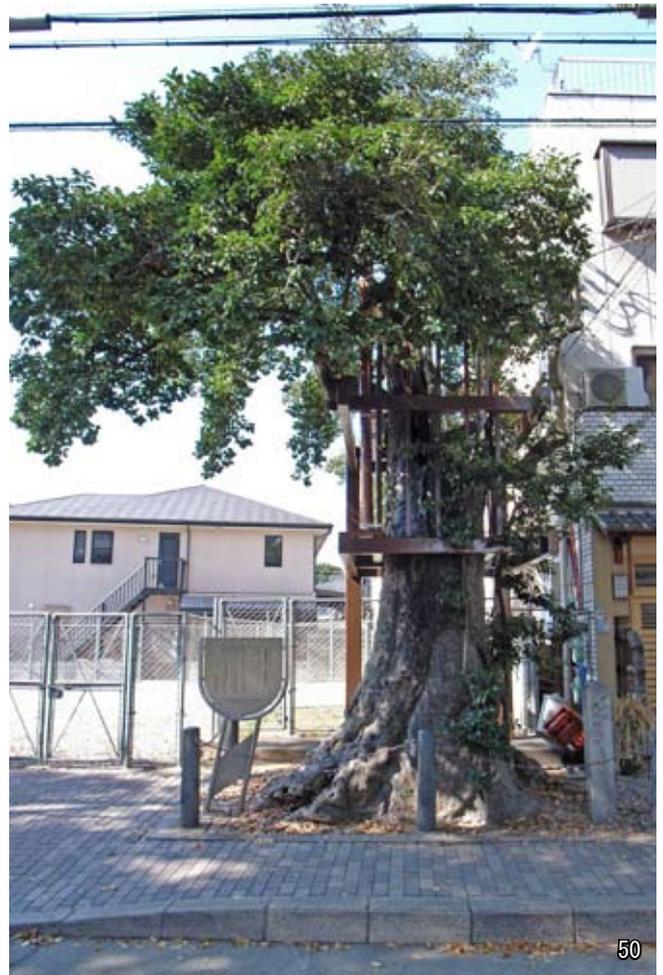


49

49 藤井邸のくろがねモチ 府

樹 高：15m 幹周り：2.69m
 樹 齢：不明 指定年：昭和 48 年 3 月 30 日
 所在地：堺市津久野3丁 2073
 交 通：JR 阪和線「津久野」駅下車、北へ徒歩 300 m

藤井邸の庭には2本の府指定天然記念物があります。その1本がこのクログネモチで、広い斜面の下方で多くの樹木に囲まれて、ひときわ大きいのがこの樹です。斜面の下側は駐車場になっており、そこから見上げた姿は圧巻です。このクログネモチは雄株です。



50

50 方違神社のくろがねモチ 府

樹 高：10m 幹周り：3.5m
 樹 齢：不明 指定年：昭和 48 年 3 月 30 日
 所在地：堺市堺区三国丘町3丁
 交 通：南海高野線「堺東」駅下車、北西へ徒歩 500 m

現在堺市道になっている方違神社のかつての参道があった歩道敷に、倒壊防止の鋼鉄の支柱に支えられるようにして立っています。樹勢の衰えを救うために、ここ数年継続的な治療が行われています。内部は空洞になり、樹高もかつてに比べて小さくなってはいますが、初冬にはたくさんの赤い実をつけてくれます。

クログネモチ

クログネモチはモチノキ科モチノキ属の常緑高木で、本州中南部、四国、九州、南西諸島、台湾、中国南部、東南アジアに分布する照葉樹林の構成種です。

雌雄異株で、幹はまっすぐに育ち、樹皮は滑らかです。葉は光沢のある卵形で、若い枝は黒紫色を呈することが名前の由来です。常緑樹ですが、春の新芽の時期にいっせいに葉を落とします。春に緑がピンクがかった薄緑色の小さな花を咲かせ、雌株は秋に真っ赤な丸い小さな実をたくさんつけます。この実のなった姿が美しいため庭木としてよく植えられます。また、大気

汚染や排気ガスなどに強いことから街路樹としても植栽されます。

樹皮にはゴムのような粘りのある成分が含まれており、かつてはこれを搗(つ)いてとりもちを作っていました。葉は熱を加えた部分がしばらくすると黒く変色する性質があるため、線香などで絵や字を描いて遊んだ経験を持つ人もいます。

漢方では樹皮や根皮に止血、鎮痛効果があることが認められています。



51

51 野間の大けやき 圖

樹 高：33m 幹周り：10.75m

樹 齢： 指定年：昭和23年1月14日

所在地：能勢町大字野間稲地 266

交 通：能勢電鉄妙見口駅から、阪急バス奥田橋・能勢町宿野方面行き「本滝口」下車、西へ徒歩500m

のどかな田園風景が広がる地域の中に、わが国でも屈指のケヤキが一本保存されています。周囲に柵が設けられていますが、その周りをまわると、すべての表情をみることができます。



51

ケヤキ

ケヤキはニレ科ケヤキ属の落葉高木で、北海道を除く日本全国と東アジアの一部に分布する落葉広葉樹林の重要な構成種です。寿命が長く樹齢 1000 年以上、樹高 25m 以上の巨木になることもあり、国や都道府県などの天然記念物に指定されている個体数が多いこともよく知られています。灰褐色の樹皮は多くの皮目があり、成長するとはがれ落ちることがあります。葉は先のとがった細長い卵形で鋸歯があり、秋にはきれいな赤や黄色に紅葉します。葉が出る前の 4 月から 5 月ごろに枝先に密集した赤っぽい小さな花を咲かせ、秋にはソバの実を丸くしたような種子が実ります。樹形は樹冠が大きく丸く広がる美しい姿で、落葉後の姿も端正なことから、庭木や街路樹としてよく植えられています。

材は木目が美しく、磨きあげると素晴らしい艶が出ます。堅牢で耐久性があるため高級家具や建築材として珍重されています。雨にさらされても丈夫なため、旧家の長屋門の扉や神輿、だんじりなど総ケヤキ造りの豪華なものもよく見られます。

ケヤキは古語では「槻（ツキ）」「槻木（ツキノキ）」というため高槻市の樹木に指定されています。万葉集には槻木を詠んだ歌がいくつかあり、幼子を残して先立った妻を偲んで柿本人麻呂が詠んだ「うつそみと思ひし時に取り持ちてわがふたり見し走り出の堤に立てる槻木のこちごちの枝の春の葉のしげきがごとく思へりし妹にはあれど」で始まる悲しい長歌がよく知られています。



52

52 光善寺のさいかちこうぜんじ

樹高：12m

幹周り：2.5m

樹齢：200年～250年 指定年：昭和50年3月31日

所在地：枚方市出口2丁目8-13

交通：京阪本線「光善寺」駅下車、北西へ徒歩1km

光善寺境内の伽藍から外れた北端にあります。通常、さいかちは夏に淡黄緑色の花をつけますが、本樹は、うすい紫色のめずらしい花をつけます。室町時代に蓮如上人が当地で説法した際、美女に扮した大蛇が、功德を得て昇天できるお礼にと、大蛇が住んでいた池を御堂をつくるために提供しました。この大池の脇のさいかちの木から美女が昇天したという、龍女伝説が伝えられています。



サイカチの葉

サイカチ

サイカチはマメ目ジャケツイバラ科(マメ科とも)サイカチ目の落葉高木で、もっとも原始的なマメの仲間です。日本固有種で、本州中部地方以西から四国、九州に分布し、木の寿命はそれほどありませんがまれに樹齢数百年になる老木もあります。

幹はまっすぐ伸び、枝分かれした鋭いとげがたくさん生えています。葉は長い葉柄に長楕円形の小さな葉が10対前後互生し、初夏に淡い黄緑色の花を咲かせます。秋に30cmほどの長さの曲がりくねった莢に1cmぐらいの種子がいくつも入った実が成ります。

サイカチは有用性が高く、昔から里山でも大切にされてきました。莢(さや)にはサポニンが多く含まれており、つぶして水でもむと泡と粘りが出ることから石鹼として利用されてきました。特に傷みややすい草木染めの絹織物を洗うには最適だといわれています。また、豆の仲間ですから新芽や若葉は食べることができます。

中国に分布する近縁種のシナサイカチは昔から漢方薬として珍重されており、日本のサイカチにも同様の薬効があるといわれます。豆の莢は☒莢(そうきょう)と呼び、去痰、利尿剤になりますし、とげは☒角刺(そうかくし)、種は☒角子(そうかくし)で、ともに腫れものの解毒剤になります。

サクラ

サクラはバラ科サクラ属の落葉広葉樹の総称で、日本原産種はヤマザクラ、オオシマザクラ、エドヒガンなど9種が知られています

ソメイヨシノなどの鑑賞用品種の寿命は比較的短いのですが、エドヒガンは長寿で知られ、樹齢千年を超えるといわれるような巨木はほとんどがこの種です。

昔から人のかかわりが深く、和歌や文学作品にもよく登場します。日本人の桜好きは世界に類をみないほどで、人為的に作り出された鑑賞用品種を含めると大変な数の品種があり、世界中で栽培されている鑑賞用品種の大半は日本で生まれたものです。

材としての利用は多くありませんが、ヤマザクラの若木の樹皮は丈夫なため古来曲物を綴じたり、道具を結束したりするのにつかわれています。木材は耐久性は低いかわりに柔らかな風合いと落ち着いた赤みがかった色が好まれ、家具や食器などに加工されます。また、サクラのチップは燻製を作る際の燻煙材として最もポピュラーなものです。

初夏の味覚サクランボは中国原産のシナミザクラから品種改良されたもので様々な品種を楽しむことができます。



53

53 慈眼院の姥桜^府

樹 高： 幹周り：3m
 樹 齢：400年以上 指定年：昭和45年2月20日
 所在地：泉佐野市日根野626
 交 通：JR 阪和線「日根野」駅から、南海バスウイング
 バス「犬鳴山」行「東上」下車すぐ。

慈眼寺所蔵の元禄3年（1690年）の古図に描かれている桜の古木です。幹の内部は空洞になっていますが、春になると美しい花を咲かせます。地上3mのところになんか新たな幹が伸びており、この幹もすでに100年から150年経っていると見られています。

54 若櫛のサクラ^府

樹 高：8m 幹周り：2.2m
 樹 齢：100年 指定年：平成17年1月21日
 所在地：和泉市若櫛町
 交 通：泉北高速「和泉中央」駅から、南海バス「若櫛」
 行き終点下車、東へ徒歩500m

泉州地域では数少ないシダレサクラで、個人所有の樹です。大きく立派なこの樹の見事な花を愛でようと、春になると多くの花見客が訪れます。この樹を大切にお世話してこられた所有者のご母堂はもうその花を見ることはありません。こころなしかサクラも元気がないと、所有者は心配しておられます。ご母堂を想う心がサクラの樹への思いと重なり、花の美しさはそのままに人の心の美しさを映しだしています。



54